



Amappo



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第248号 2022年11月号

SINCE 2002.4.1.



発行日令和4年10月26日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

(Just Like) Starting Over 「運慶」 part2

新型コロナウイルスとの戦いは、残念ながらまだまだ続きそうです。いままで通り、感染予防に十分配慮しながら、感謝の気持ちを忘れずに過ごしましょう。



NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映により、鎌倉幕府や三浦半島を中心に活躍していた武家・三浦一族にスポットライトが当たっています。



現在、金沢文庫では、横須賀美術館に引き続き、運慶の800年遠忌記念特別展として、「運慶～鎌倉幕府と三浦一族～」が開催されています。



運慶は、日本史上最も著名な、卓越した技量をもつ仏師であり、鎌倉時代初期に、鎌倉幕府という新政権と密接に結びつくことで活躍したことが知られています。また、運慶は、鎌倉幕府初代侍所別当・和田義盛の発願による浄楽寺諸像（1189年）をはじめ、鎌倉幕府において重要な位置を占めた三浦一族の造仏に、数多く関与していたことが近年、明らかにされつつあります。（参考資料「金沢文庫HP」）

神奈川県立金沢文庫 中世歴史博物館
運慶 鎌倉幕府と三浦一族 2022.10.7 fri ▶ 11.27 sun 9:00~16:30

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. Next100

介護保険制度を利用した住宅改修工事を担当させていただいたお住まいを紹介させていただきます。

外階段に手すりを設置したいというご要望です。介護保険を利用した住宅改修が初めてということで、介護保険制度の簡単な説明と今までの施工例などを説明し、施工前に実際にその場に立って高さを確認していただきました。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」



「介護保険制度のしくみがわからなかったけれど、何度も足を運んでもらって理解できました。ありがとうございました。おかげで、昇降が楽になりました。安心して外出できるようになりました」という感想をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォアー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



よこすか文学館

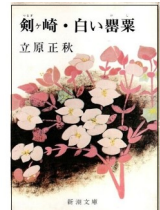
<83>

横須賀が登場する文芸作品（マンガも含む）や横須賀に縁のある文学者を紹介します。

たちはらまさあき

立原正秋

つるぎがさき

『剣ヶ崎』
(新潮文庫)

直木賞作家立原正秋（1926-1980）は大日本帝国統治下の朝鮮で生まれました。父の死後、母の再婚に伴い横須賀に移り、衣笠小学校、横須賀商業学校（現横須賀総合高校）に学びました。『剣ヶ崎』は1965年に発表された短編小説です。朝鮮と日本の混血の兄弟の苦悩を描いた小説です。兄弟が子どものころ、帝国陸軍の大尉であった父親が脱走し行方不明となりました。戦後、独立した韓国の将軍となっていた父親が25年ぶりに日本に立ち寄り、兄弟の弟次郎（兄はすでに死去）と短い再会を果たします。ちなみに、剣ヶ崎に住む兄弟は、横須賀中学（現横須賀高校）に通うのですが、バスで京浜急行浦賀駅まで行き大津駅からは徒歩で通っていました。

〔洗足学園中学高等学校〕
教諭 中島正二



横須賀製鉄所物語（横須賀の水道その2）〈89〉

関東大震災により横須賀市内の家庭の蛇口からも工場の蛇口からも一滴の水も出なくなり、何よりも生活する上で必要な水を供給することが水道関係職員の務めであると考え、震災後の水道施設を調査した結果、幸いなことに市内唯一の水源であるヴェルニーにより建設された走水は、比較的被害が少なく、湧水量も平常と大して変わらないことが分かりました。しかし、送配水管切断された上、ポンプも動かず、湧水はそのまま貯水池から溢れ出て海へと流れ出ていました。



そこで、水道の担当職員は、この湧水を下町地区に送ろうと考えました。水道水の運搬については、各種の条件から一番問題のない海上輸送を考えました。これは素晴らしい提案でした。しかし、その作業の実施に向けては多くの難問があり、それをどのように解決し克服して実施するかが問われました。まず、海軍からカッター（大型ボート）を借り受けました。海に浮かぶカッターに水道水を積み込み運搬する案でした。走水の海岸は、遠浅なのでカッターを走水海岸近くまで誘導出来ませんでした。かなりの沖合にカッターを碇泊させて走水の貯水池からの水道水の運搬をしなければなりません。そして、この海上輸送について横須賀市上下水道局発行の「水の旅」によりますと「岸とボートとの間の海上にホースを渡さなくてはなりません。しかし、その距離が長いので、途中で支えがないとホースは海中に没してしまいます。そこで海面上でホースを支持する栈橋が必要となりましたが、ことは一刻を争い、栈橋を設備する時間などはとてもありません。そこで水道課員たちはみずから海中に入り、約2メートル間隔で岸とボートとの間に列をなし、ホースを支えることにしたのです。水道課員を橋脚とした（人栈橋）です。（略）人栈橋となった課員たちは、交替しながらとはいえ、筆舌に尽くしがたい苦痛に歯を食いしばって耐えなくてはなりません。彼らは首まで海水に長時間浸り、全身冷気に苛まれ、空腹と疲労に苦しめられました。海水もただの海水ではありません。重油タンクの破裂によって流れてきた重油にまみれています。全身はコールトールを塗ったように真っ黒に染まり、強い臭気に頭痛を発生し、時に重油の飛沫が口に入って嘔吐をもよおすなど、想像を絶する苦難と闘いながらの作業となりました。こうした過酷な作業に耐え続けられたのも、湧水に立く9万の市民を思えばこそこのことで、水道課員たちは重油をかぶりながら互いに励ましあい、ついに海上輸送をやりおせたのです」と記されています。

この海上輸送は9月3日から連日続けられ、9月末までの約1ヶ月間毎日数回実施されました。その後、海軍が丸太で約70メートルの栈橋を建設したので、人の栈橋は解放されました。このヴェルニーによる走水水源は、関東大震災における市民の急場を救った「命の水」となったのです。（元横須賀市助役 井上吉隆）

※【お詫びと訂正】先月10月号（第247号）の横須賀製鉄所物語〈88〉で、関東大震災が起こった年の表記に誤りがありました。正しくは下記の通りです。訂正させていただきますお詫び申し上げます。ご指摘いただきありがとうございます。

○1923年（大正12年） ×1928年（大正12年）

WELCOME

いろいろありましたが、横須賀に新たな施設がOPENします。

新港町の「よこすかポートマーケット」が10月28日にリニューアルオープンします。新しい施設は、「一期一会」のおもてなしがコンセプトのようです。テナントとして、農産物を販売する「長井水産」、マグロ・海鮮丼の「あがっとこ」、海鮮料理の「房丸水産」、ネイビーバーガーの「ハニービー」、クラフトビールの「横須賀ビール TAPROOM」、サンドイッチカフェの「ファーロ」、デリカ・精肉の「ブッチャーズテーブル横須賀松坂屋」、葉山の「マーロウ」などが出店し、音楽ライブが可能なイベントスペースやシェアキッチンが整備されます。

（参考資料「ヨコスカ新聞」）



ヴェルニー公園のティボディエ邸の向かい側に、この12月に横須賀の豊かな海と緑が育んだ旬の食材を生かしたイタリアンレストラン「アマルフィ」が誕生します。



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2022」A-9歩ZONE版（永久保存版）を（Blog「Oppamap2022」より）ダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索